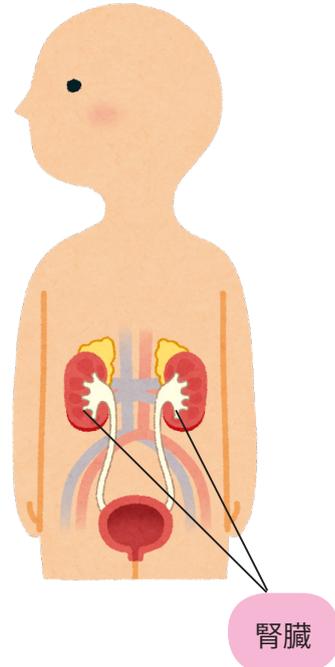




☆どうぞ自由にお持ち帰りください☆

今回は腎臓のお話です。腎臓は、内臓の中でも奥深い所に位置しています。丁度、腰のやや上のあたり左右に1個ずつあり、大きさはこぶし大くらいです。体の中の余分な水分や血液に含まれる老廃物を尿として排泄する重要な役割があります。他にも、ホルモンを作る働きがあり、そのホルモンは、血圧調整や造血また骨の形成に至るまで様々に関わります。慢性的に腎臓への障害が続くと、腎機能が徐々に低下し、体の中に老廃物がたまり、尿毒症といわれる症状が現れます。尿毒症の症状としては、吐き気、嘔吐、疲れやすい、食欲低下、倦怠感、記憶力の低下などが出現し、時には意識障害が起き、昏睡状態となることもあります。また、むくみ、呼吸苦、貧血、高血圧、不整脈など、全身のあらゆる症状が出現することもあります。



人工透析

腎臓の機能が著しく低下してしまった時の一つの対処法として、人工透析があります。透析を行うことによって、体内の老廃物などの毒素が人工的に排泄され、生命活動を維持することができるのです。肝臓などの他の臓器と違い、腎臓は再生能力が低く、一度失われた機能は回復することが難しいです。

(次のページに続く)

♪糖尿病教室♪ ※糖尿病以外の方、ご家族も大歓迎です。

5月9日(水) 糖尿病の薬物療法 日本糖尿病療養指導士：今城都志枝
時間：16時30分～17時30分 場所：真生会富山病院 さくら病棟 指導室

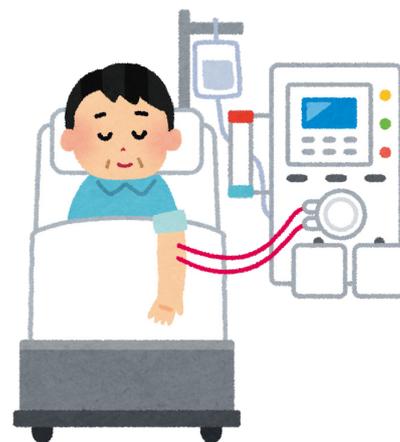
5月23日(水) 糖尿病の検査 日本糖尿病療養指導士：松田真理子
時間：16時30分～17時30分 場所：真生会富山病院 さくら病棟 指導室

♪健康ワンポイント教室♪

5月14日(月) 他人事でない 歯周病の話 講師：鈴木渉(歯科衛生士)
時間：15時00分～15時30分 場所：真生会富山病院 総合受付前(本館1階)

薬物や食事療法などの治療を行っても腎機能低下の進行が止まらず、そのままでは普通の生活を送るのが困難になってしまう場合、人工透析を考える必要があります。

人工透析は、本来の腎臓の代わりに、人工的に老廃物や余分な水分をろ過し、血液をきれいにする治療です。透析療法には血液透析と腹膜透析の2種類があります。血液透析は人工腎臓の機械を使う方法です。



週に3回程度、医療機関で行います。1回につき3～5時間程度要します。腹膜透析は、自分の腹膜を用いた透析方法で毎日家庭で行います。通院は月2回程度です。どちらの透析を選択するかは、希望に応じて腎臓の状態、生活スタイルを考慮し決めることとなります。透析以外では腎臓移植を選択できます。いずれの治療法も当院はご相談に応じております。

真生会富山病院 腎透析センターオープン

このたび、透析室が15床から25床に拡張し、南館の増築エリアに移転しました。透析室、腎臓内科、泌尿器科が連携し、「腎透析センター」として診療を行います。腎臓を扱う腎臓内科と泌尿器科は連携が大事であり、両科が協力することでよりの確な治療を行えるものと考えます。射水市内にも多くの透析患者さんがおられますが、透析治療を受けられる施設は限られています。さらに、合併症のある方も多く、足、眼、耳、皮膚など全身に疾患を持っておられる場合があります。その点、透析だけでなく総合的に治療できるところは当院の強みであると思います。また、夜中に何かあった場合も24時間対応しています。訪問診療や全科往診も行っています。今回新たに、自宅と病院を往復するワゴン車の送迎サービスも開始しました。（※自立して乗降できる方限定です）患者さんやご家族の方のご負担が少しでも軽減され、安心して治療を受けていただけるよう、努めてまいります。

♪出張講座♪

地域のみなさまとの交流や、健康づくりのお手伝いとしてさまざまなテーマで「出張講座」を行っています。知りたい、聞きたい、体験したい講座をお申し込みください。詳細は院内の掲示物やパンフレット、ホームページで紹介しています。

☎お申し込み：あらかじめお電話でご相談を承ります。 TEL：0766-52-1556